

### 村の歩み

文化村として、或口モデル村として数々の表彰を受け、最近頃みに名声を高め、斯うした村の実態を把握すべく視察団の米村は目を逐うて繁きを加え妍爛たる花を咲かしてゐるが、これは一朝一夕に咲いた花ではない。明治廿二年本村が栄村として出発して以来、茲に六十五年、理事者任期を代えること十八、人代ること十、これ等累代の理事者が、この長い間、黙々として不断の努力を続けた結果であつて、私は常に此等先輩に対し深甚なる敬意と感謝とを捧げている。然し村の内容を検討するとき、現在の声価に比し果して何等の空白も無いであらうか？ 私は敢て言う「ノー」と私はまだまだ幾多の空白があると思ふ。この空白を自覚して居る以上先づこれを埋めなければならぬ。そして夫れと同時により経済力の充実した。より住み良い、より向上した平和な文化村を造るべく、たとへそれが蝸牛の歩みであつても諸般の施策を進めてゆきたい。これが私の任務であり先輩に対する義務であると思ふ。各位の絶大なる支援を期待する。藤沢勘兵衛

### 『さかえ』 六月号目次

表紙	役場	米小教頭 鷹巣 清
題字	村の歩み	村 長 藤沢勘兵衛
扉	村の歩み	村 長 藤沢勘兵衛
村概観	一 農業共済	二 生産組合
財政	村予算	三 商工会
人口	教育	四 青年会
消防	農業	五 婦人会
各種役員名簿	六 白菊	六 農青
役場	七 農野	七 社会福祉
任用委	八 常設委	八 班長
農委送管	九 民委推薦	九 八 俳句
民生委	十 資産評価審査会	十 九 高産受授土地改良選抜
教委	十一 中 小学校	十一 九 児童幼稚園保育園
中 小父母と先生の会	十二 佛教巡査教授公民館	十二 一 子供会
宋中建設後援会	十二 二 村棋評酒協トマト校	十二 三 宋中建設後援会
国保運協	十二 二 全協力会	十二 四 農業共済
統計	十二 三 消防	十二 四 農協
		十二 五 一三とまと出荷要項
		十二 六 二四

### 栄村々勢概要 昭和廿八年度

役場位置 新治郡栄村大字松塚字土器屋前一〇四〇番地の一（片倉本屋木造石帯スリート警平家 建物七三坪五合）

村の面積 八五八平方料（八六五町一反五畝歩）

村の位置及広袤 新治郡の西部、投川の右岸に位し

土浦市を西北に距る八料、東西三六料、南北五三料、村の中央部へ役場裏園根点に於て東經一四〇度八分四五秒、北緯三六度六分九秒

地 勢 台地に於て海拔二七二米（金田字不動台一四一八番地）、平坦地に於て同じく九一四米（役場裏松塚字土器屋前一〇二二番地）

(1)

地目	面積	評価額	地目	面積	評価額
宅地	五五九	三〇、一七二	雑地	一四八	三、三三六
田	三五二六	六七、五二〇	合計	七〇六〇	五五、七三六
畑	三二七	四四、八二六			

世帯及人口 (昭和廿八年五月三十一日現在)

世帯数	男	女	計
六三九	一、六二二	一、七二一	三、三四三

議 会 議員定数一六名 現在一六名

議員党別 無所属一六名

議長一、副議長一、教育委員一、総務委員五、教育

民生委員四、経済委員四、監査委員一、出納検査立

会八三

執行機関

役場

村長 助役一、収入役一、専任固定資産評価員一、

主事一、書記九、保健婦一

選挙管理委員会 委員三、兼任書記一

監査委員会 委員二、兼任書記一

教育委員会 委員五、教育長一、書記専任

兼任一

財政

昭和廿八年度歳入歳出予算

歳入	予算	額	比率(百分比)
----	----	---	---------

科 目	予 算 額	比 率 (百分比)
一 村 税	八七六二四七六	七八・一
二 地方財政衛生交付金	一三〇〇〇〇〇	一一・五
三 公企業金賦還収入	三五〇	〇・〇
四 使用料及手数料	三〇三一〇	〇・三
五 同庫支出金	四〇九八二七	三・七
六 県支出金	五八三七七	〇・五
七 寄附金	五〇三・一〇〇	四・五
八 繰越金	七〇、〇〇〇	〇・六
九 雑収入	八八、九〇九	〇・八
歳入合計	一一二二三、三四九	一〇〇・〇
出		
一 議 会 費	二三五・一〇〇	二・〇
二 役 場 費	三三八九八五八	三〇・二
三 警察消防費	二七八二〇〇	二・四
四 土木 費	四〇三、七〇〇	三・六
五 教 育 費	四二八、一七五〇	三八・二
六 社会労働施設費	七〇、一〇〇	〇・六
七 保健衛生費	二〇、七二二九	一・九
八 産業経済費	七三二、〇七五	六・五

昭和三十七年度村税徴収状況(五月末日現在)

科 目	調 定 額	收 入 済 額	徴 収 率
村 民 税	一四〇、二〇七四	一一六、〇八六	八三・%
国定資産税	三三六九、五三〇	二七七四、一一三	八二・%
自転車税	一七二、二〇〇	一五八、一〇〇	九一・%
荷車税	二〇、二六〇	一七、一〇〇	八四・%
合 計	五、一四六、四〇〇	四、二六四、二七三	八三・%

昭和三十八年度村税課金

科 目	課 税 額	賦 課 調 定 税 額
九 賦 産 費	二五〇、四〇〇	二二
一〇 統計調査費	四〇、〇〇〇	四
一 選 挙 費	八〇、八一〇	七
三 公 債 費	二二九、二六三	二一
三 雑 支 出	六九七、〇〇〇	六二
二 四 予 備 費	三二七、八六四	三九
歳 出 合 計	一、二二三、三四九	一〇〇・〇

特別会計(廿八年度)

国民健康保険予算額 二二三六八六〇

福祉救助基本財産予算額 一、一五〇

世帯及人口の異動

年次	世帯数	人 口	年次	世帯数	人 口
昭二二年	六六二	三四三三	昭二五年	六四〇	五、三六一
同二三年	六六七	三四二四	同二六年	六三一	三、三四九
同二四年	六三五	三、三七三	同二七年	六四〇	三、三六〇

村 民 税	課 税 所 得 額	六二五四八三〇	五八六二九
固定資産税	課税資産	二二三三五四三	七一二三〇
自転車税	自動車	八六八台	一七六一〇
荷車税	同動力付	一五九台	二〇一〇〇
合 計		七〇〇、六九五九	

教 育

学校別校数	学 生 数	男	女	計
中学校	一五八	九八	九八	一九六
小学校	一一〇	一九三	一九六	三八九
合計	二一五	二九一	二九四	五八五

校舎及敷地 昭和三十八年一月二日現在

小学校舎 木造瓦葺平家 建坪三二八坪

中学校舎 木造スレート葺二階建 延坪二六二坪

敷地延坪数 二、六四四坪 大字金田下宿五四番地外

小、中学校共県教育委員会より実験学校に指定される  
 備考 中学校独立校舎 木造スレート葺二階建一  
 棟 延坪二九九七五坪目下大字金田西三番地跡一五  
 〇番地に建築工事中

幼稚園 大字松塚に私立栄幼稚園 大字中根に私立  
 公徳保育園あり幼児の教育に当つて居る

社会教育

公民館 所在 栄村大字横町字恵化前二六三の一  
 本館 木造瓦葺二階建 ホール同平家  
 総延坪一、一六坪六七

組織 館長一 副館長二 運営審議委員二以内  
 各節 総務 産業 保健体育 青年 婦人  
 子供 弘報委員会 図書館 事務局

予算 昭和三十八年度予算 六五五、四七五円

社会事業

生活保護法による保護費(廿七年度)

保護の種類	世帯数	人員	金額
保護の種類	世帯数	人員	金額
生活保護	一一	二一	八〇、六九四
医療保護	八	二一	三、〇〇〇
教育扶助	五	一〇	二、三九八
合計	二四	五二	八六、〇九二

國民健康保險事業 (昭和廿七年度)

加入世帯五八六 被保険者総数三一六二  
 予算総額 二四四二九一元  
 保険税徴収状況  
 調定額一〇〇〇七七五円 一戸当平均三三三・八九  
 収入済額八五三四八三円 収入歩合 八五三・八  
 備考 保険税最高八一八二円 最低七四九円  
 加入者一部負担割合 五割  
 保険給付状況  
 総支拂額一〇八七二五一元  
 取扱件数一ヶ月平均四〇五六坪  
 村内の医療施設 開業医四人 歯科医一人  
 助産婦三人

消防

村 消防長一 消防主任一  
 本部 団 長一 副団長二  
 編成 九分団 団員三〇〇名  
 設備 手挽がソリンポンプ四、手押ポンプ七  
 消防用井戸五、火の見櫓一三、詰所一

農家戸数 四八一 (昭和廿七年十二月十五日現在)  
 内 専業農家 三四〇 農業を主とする兼業農家 八六 他の職業を主とする兼業農家 五五  
 農家人口及農業従業者数

性別	常時在宅の人員	内農業従業者
男	一三四四	六六九
女	一四二七	六七〇
計	二七七一	一三三九

自小作別農家

自作農	自作兼小作	小作兼自作	小作農	合計
二二一	一九三	四八	二九	四八一

農家の経営面積

地種	経営反別	農家一戸当り反別
田(毛作)	二四一〇三・一八	五・〇〇三
普通畑	二三五三・一〇六	四・八二八
畑樹園地	一六二四・〇四	三・一〇
計	二五一五・五〇	五・二〇八
合計	四九二五・八二八	一〇・二一二

村内に所有する山林 原野

山林	一〇七町七反
原野	五町三反

經營地地面積と耕作家

經營面積別	戸数	經營面積別	戸数
一反未満	一〇	一町一町五反	一四五
一反〃三反	四八	一町五反一町	八三
三反〃五反	四一	二町〃三町	一四
五反一町	一四〇	合計	四八一

昭和廿七年度主要作物

種別	作付面積	生産高	反当收量
水稻	二四〇三反	五七四二石	二四三・八九
陸稲	九・〇	六九	七・六六
大麦	七四・八	二・一五一	二・八七五
小麦	六六・一	九七・二	一・四七一
雑穀類	九一・四	九二・一	

同年度米供出状況

供出基本割当	三、一四四石
同超過割当	二、三二一石
計	三、三七五石
供出実績	三、四〇五石

基本割当に対し二六一石 超過割当に対し三〇石増  
 減 (系(廿七年度) 農協組合調)

畜産

種別	戸数	反別又は掃立数	数	量
養蚕	五〇	一、三三三反		收量一、七二九×
果樹		三一・反三		
桑園		一一二、六		
煙草	六五	七七・八		收量一、六二四キロ

その他

合計	九二八	四二七・二九四	一六二七・九五八	
----	-----	---------	----------	--

区分 乳牛 役牛 皮肉 綿羊 山羊 兎 豚 鶏 あり

飼養頭数	三一六五	一、三三二	一、二四〇	一、七三五	五
飼養戸数	一一六一	一一三	九二二	九六三	四二

家畜保健治療施設 開業獣医師一  
 農用動力(参考事項)  
 小型電動機一七八台 発動機三八台

# 各種役職員名簿 昭和廿八年度

## 役場

特別職員

村長	村勢全敬	藤沢勲兵衛
助役	土木 經濟課長	酒井 嘉幸
収入役	經理 出納 會計課長	沼尻 昌雄
固定資産 評価員	固定償却資産の評価	沼尻 弘
一般事務職員		
主事	總務課長庶務課長選管消防等	酒井伊豆門
書記	農業委員會 土地改良	大山重左門
同	戶籍 住民登録 人口動態	飯島 一男
同	民生	横山 秀暢
同	稅務全般	岩瀬 謙
同	国民健康保險	飯島忠之助
同	統計 住民登録 主食配給	柴沼 孝雄
同	農業委員會	飯島 和子
同	衛生	石渡 こう

同 稅  
 一般技術職員  
 保健婦 保健 衛生  
 其他

備人 國民健康保險集金員  
 使丁 役場使丁

## 村議會議員

議長	出納検査立会人 教育委員	岡田 節二
副議長	出納検査立会人	根本 一之
議員	監査委員	市村 徳夫
同	教育民生委員會委員	小林 善一
同	同	酒井 晋
同	同	榎部哲太郎
同	同	大久保四郎三郎
同	同	飯島 重夫
同	同	酒井 助衛
同	同	豊島 亨
同	同	比岡弥一郎
同	同	小倉松三郎

久保田清江  
 比岡 くと

## 村吏員任用委員會(村役職員)

村議會議員外の監査委員

同	經濟委員會委員	五頭 良准
同	同	豊島一之望
同	同	平島作太郎
同	同	久保田 泰
同	同	菊池 民雄

## 常設委員

委員長 藤沢勲兵衛

委員 酒井嘉幸 岡田節二 市村徳夫 小杯喜一  
 酒井喜市 菊池民雄

上境	酒井 正衛	露久保格次郎
中根	高巢 仁藏	平島 清
土器屋一区	飯島 菊雄	飯島 長太郎
土器屋二区	末柄 要藏	塚田 隆之助
松塚	沼尻要之助	沼尻 勤
大上	大山 好農	塚本 源一
大下	酒井 斐	酒井 豊臣

## 部落班長

上境	奇 藤 丑 増山 鉄五郎 酒井 誠
酒井	滿 酒井 義久 酒井 助衛
中根	宣町 好道 宣町 茂 本橋 徳次
本橋	三千男 本橋 隆壽 酒井 栄三郎
平島	新市 酒井 浩

土器屋		
一区	飯島 毅之助 渡辺 幸次郎 島崎 三郎	
二区	飯島 房雄 飯塚長四郎 加地 芳一	
松塚	久保田守富 久保田 せき 久松 勝二	
坂	清 吉 久保田秀次郎 沼尻 晃	
久保田	五兵衛	
大上	大久保信義 酒井 敬之助 塚本 政男	
大下	酒井英津夫 榎部 哲太郎 酒井 豊臣	

横町 増山 さと、高梨 良之助、沼尻 軍一、大塚 久三郎

金田 比岡 三郎、沼尻 謙次郎、沼尻 四郎、木村 弥一郎、岩瀬 弘、岩瀬 清

古米、久松 惠治、寺田 光一、豊島 武雄、藤澤 光、豊島 清一

吉瀬 中島 次郎、上方 恒治、根本 覚、根本 虎雄、根本 武、中島 守夫

五頭 安一

農業委員会

委員長 藤沢 勘兵衛 同代理者 沼尻 久好

委員 酒井 福太郎、酒井 善市、本橋 虎之助、大津 忠雄、平島 徳市、金村 先根

久保 田茂一郎、美野 本辰三郎、沼尻 高之助、酒井 寅之助、塚本 慎一、沼尻 正男

久松 誠、寺田 兵吾、久松 茂、根本 元一、五頭 重儀

書記 大山 重右門、飯島 和子

選挙管理委員会

委員長 沼尻 弘 副委員長 酒井 治郎

委員 空町 清造 書記 酒井 伊右卫門、補充員 酒井 隆 宮本 廣次 五頭 幸一

民生委員推薦委員会

委員長 藤沢 勘兵衛

委員 小林 善一、宮本 庄吉、沼尻 敏一、酒井 治郎、沼尻 正、比岡 三郎

五頭 静男

民生委員

常務委員 久松 信一

委員 酒井 隆、中村 千枝、橋本 義弘、市村 芳男、五頭 良雄

固定資産評価審査委員会

委員長 菊池 民雄

委員 柳沢 春一、室町 竜一郎、書記 酒井 伊右卫門

教育委員会

委員長 久松 信一

委員 久松 茂、根本 登、酒井 作衛、岡田 節二

教育長 塚本 清

書記 酒井 伊右卫門 鷹巢 志守

中学校

校長 猪俣 三郎

教頭 三年 副担任 市村 芳男

教諭 二年 A組担任 赤塚 世意子

同 一年 副担任 石田 良子

同 一年 A組担任 松井 恭雄

同 二年 B組担任 栗栖 三男

同 一年 B組担任 木村 憲

同 三年担任 藤田 卓

校医 岡田 久

学級委員 (一学期) - A級 長 平島 嘉治、副級長 高木 久夫、久松 由起子、- B級 長 酒井 洋治、副級長 久松

小学校

校長 飯島 光子、二 A級 長 塚本 智子、副級長 広瀬 俊

教頭 六年一組担任 鷹巢 清

同 五年二組担任 酒井 邦夫

同 五年一組担任 櫻井 光

同 六年二組担任 渡辺 信雄

同 四年二組担任 倉田 利夫

同 四年一組担任 岡 政夫

同 一年一組担任 笹本 節子

同 四年二組担任 岡野 善美子

同 助教諭 一年二組担任 石渡 直以

同 三年担任 宮沢 信子

同 二年担任 大沼 光子

校医 岡田 久

使 丁 (中学校兼任) 米山 寸

学級委員(一学期) 三級長飯島 勲 副級長小池  
和子 四の一級長根本洋一 副級長大津和子 四の  
二級長小川洋子 副級長酒井益夫 五の一級長藤久  
保達 副級長島崎或子 五の二級長中村 伸 副級  
長平島藤子 六の一級長平島秀夫 副級長酒井心子  
子 六の二級長岩瀬 栄 副級長飯島 浩

**栄中学校父母と先生の会**

会長 酒井 きよ 副会長 藤沢 達  
書記 市村 芳男 会計 酒井 治郎  
実行委員 大塚 実、室町好道 廣瀬敬夫 鈴木直  
市 酒井重利 諸川辰雄 沼尻四郎 豊島清一 五  
頭豊之  
予算会計委員会 委員長 五頭豊之 副委員長 廣  
瀬敬夫 委員 杉田ヒサ 酒井長吉 岩瀬さわ  
企画委員長 委員長 室町好道 副委員長 未定  
委員 酒井武男 酒井守夫 塚本源一 沼尻 繁  
宮本 庸 根本久次  
成人教育委員会 委員長 諸川辰雄 副委員長 豊  
島清一 委員 塚本元一、岩瀬 弘、小池海賢 塚

**栄小学校父母と先生の会**

田隆之助 小林 孝 酒井喜市  
厚生委員会 委員長 沼尻四郎 副委員長 鈴木直  
市 委員 室町すい 飯島善太郎 小川口つ 久松  
光三郎 根本 武  
校外生活指導委員会 委員長 大塚 実 副委員長  
酒井重利 委員 平島 清 飯島近衛 沼尻往夫  
佐藤 賢 久松元一 中島宣文 中島頼平  
会長 沼尻 久好 副会長 大津 忠雄  
書記 廣瀬 清 会計 久松 誠  
実行委員 飯島 憲、酒井 勝、塚本新吾 沼尻武  
男 豊島源之進 根本豊次 室町三郎 沼尻要之助  
予算会計委員会 委員長 飯島 憲 副委員長 岩  
瀬芳一郎 委員 酒井健一郎、室町 茂、沼尻万年  
酒井三郎 豊島藤次郎 根本武男  
企画委員会 委員長 塚本新吾 副委員長 酒井勝  
委員 本橋為之助 荒井久寿 久松源吾 上方恒治  
成人教育委員会 委員長 根本豊次 副委員長 豊  
島源之進 委員 酒井福次郎 増山正己 黒田若助

横山小幡  
厚生委員会 委員長 沼野武男 副委員長 未定  
委員 岡田義雄 平島すみ 沼尻勲之助 藤沢藤太  
根本虎雄  
校外生活指導委員会 委員長 沼尻要之助 副委員  
長 室町三郎 委員 酒井 清、高梨行る 松本と  
み、比岡秀康 久保田泰 程山ひで、飯島房夫 久  
保田一郎 酒井志津 大山武夫 豊島貞男 根本治  
助 上方貞男

**子供会**

栄村連合子供会  
会長 比岡宏之 副会長 飯島 浩、平島藤子  
部落子供会

上境会長 沼尻しげ子 副 酒井心子 酒井重夫  
中根会長 比岡 宏之 副 平島 秀夫 平島広子  
土屋屋会長 金村 栄子 副 里見 孝雄 廣瀬俊一  
松塚会長 鈴木 守夫 副 久保田勝之 沼尻まこ  
大 会長 塚本 清 副 飯島 浩 島田政子  
横町会長 杉田 義明 副 平次 明子 小松崎子

金田会長 佐藤 明子 副 沼野 博 岩瀬さ子  
古米会長 小神野弘士 副 豊島しげ子 豊島和美  
吉瀬会長 根本 昌子 副 上方 脩三 岡野 晃  
栄村子供会後援会  
会長 岡田 久、副会長 久松 茂 沼尻久好

**六三制中学校建設委員会**

各部落子供会後援会長  
上境 酒井 武男 横 町 欠 員  
中根 本橋 一男 金 田 佐藤 賢  
土屋屋 里見惣三郎 古 米 藤 沢 達  
松 塚 沼尻要之助 吉 瀬 欠 員  
大 酒井 重利  
委員長 藤沢勲兵衛 副委員長 岡田節二、久松信  
一 委員 酒井音 酒井助衛 平島作太郎 小林喜  
一、小倉松三郎 飯島重夫、久保田泰 大久保四郎  
三郎 經部哲太郎、市村徳夫 比岡弥一郎 豊島一  
之空 豊島亨、根本一之 五頭良雄、酒井作衛 久  
松茂 根本登 本橋源治 飯島竹次郎 宮本直太郎  
久保田健一 塚本久弥 酒井新一、沼尻正 比岡孝

一、豊島正雄。柳沢春一。酒井正衛。高巢仁藏。飯島勘一。猪俣三郎。根本養三。酒井きよ。藤沢。根本嘉平治。塚本清。飯島吉亮。菊地民雄。酒井治郎。沼尻重一。酒井善市。比呂泰康。沼尻謙次郎。久松誠。諸川辰雄。宮島正。久保田一郎。沼尻正男。岩瀬芳一郎。沼野武男。黒田三郎。岩瀬弘。沼尻四郎。沼尻久好。沼井嘉幸。沼尻昌雄。酒井伊右卫門。沼尻弘(氏名の上に。印あるは実行委員)。

飯島勘一。塚本積善。沼尻善一郎。黒田芳助。豊島正雄。五頭良雄。

国民健康保険協力委員

上境 塚田由一 多比良利丸 酒井寛市  
酒井義一 程山 隆 酒井博  
中根 室町清一郎 平島国男 本橋虎之助  
本橋良夫 小川長吉 高巢仁藏  
上方元三郎 平島啓一郎  
土器屋一区 飯島重夫 小神野三郎 飯島 憲  
土器屋二区 飯島七郎 増山重信 石塚 佐平  
松塚 鈴木 恒子 鈴木源一 伊勢 芳治  
橋本 義弘 沼尻 敬一 沼尻 晃  
根本 保太

栄村六三制中学校建設後援会

会長 岡田節二 副会長 久松信一 酒井きよ 沼尻久好 理事 酒井作衛 平島休太郎 市村徳夫 根本一之 柳沢春一 幹事 沼尻昌雄

国民健康保険運営協議会

委員長 酒井光雄 副委員長 沼尻謙次郎 委員 酒井徳市 大津忠雄 岡田節二 沼尻廣英

大上 塚本 久弥 塚本 茂 大山 好豊  
大下 酒井 寅雄 酒井 重利 酒井 三郎  
横町 沼尻 時次 宮本藏之助 岩瀬 重道  
沼尻 正 沼尻 繁 塚本 芳雄  
金田 沼尻 紀 沼尻 繁 田村 実  
市村徳一郎 市村 延好

統計住民登録調査員

増山水四郎 増山 芳一  
古米 久松 茂 沼井善一郎 豊島 武雄  
宮本 義雄 豊島藤次郎  
吉瀬 上方 貞男 中島 宣文 上方 恒治  
根本 実 根本 彰 根本 久治  
根本 邦雄

消防団

酒井助十郎 本橋三子男 室町 孝 飯島 守 飯島秋之助 沼尻 浮 大山重右卫門 酒井藤一 沼尻善一郎 市村延好 諸井房次郎 豊島正男 五頭 武雄 (高工統計) 藤沼彦雄  
消防団長 村長藤沢勤兵衛 消防主任 酒井伊右卫門  
消防団長 久松 茂  
同副団長 酒井 浩 同 酒井 光男  
各分団  
上境分団長 酒井休一郎 副分団長 酒井 晴  
班長 酒井、福井、昭、酒井 新一

栄村農業協同組合

中根分団長 平島 隆一 副分団長 小倉重信  
班長 平島三四郎 上方元三郎 本橋久好  
主査分団長 酒井善五郎 副分団長 杉井 実  
班長 飯島秋之助 飯島 茂勝 飯島重一  
松塚分団長 沼尻 淨 副分団長 久松勝二  
班長 沼尻 登支 沼尻 毅一 沼尻 一雄  
大分団長 塚本總之助 副分団長 酒井三三  
班長 大久保義雄 長沼 弥市 酒井文雄  
横町分団長 杉田 弘 副分団長 沼尻 豊  
班長 佐久間 武 沼尻 太一 沼尻時次  
金田分団長 塚本 勝利 副分団長 沼尻寛一  
班長 黒田三代司 茅場 彌男 市村延好  
古米分団長 久松 源吾 副分団長 沼尻重之  
班長 久松 徳次 豊島 一雄 手田好雄  
吉瀬分団長 五頭 武雄 副分団長 根本 武  
班長 中島 守夫 根本 哲治 根本仁也  
組合長 理事 久松 茂  
常務理事 豊島一之丞





### 白菊会

会長 中村千枝

副会長 久保田庄久乃 同 大久保キクノ

幹事 飯泉つる 上方てる 片岡とく、松本富子

久保田せい 飯島和子 増山さと 酒井志

人 岡本谷、上方ちか

会計 石渡こづ

### 農業青年連盟

委員長 宮本 勝延

副委員長 長沼 彌市 同 豊島 松雄

総務部長 塚本多美夫 生産部長 五頭 武雄

委員 酒井義一 本橋正美 酒井郁雄 沼尻稔

軽部芳男 牛岡修一 増山正巳 寺田芳

男 根本仁也 沼尻登

### 農林省作物調査員

酒井助十郎(主) 室町盛夫(主) 酒井郁雄(主) 沼尻淨松

沼尻刀三(主) 酒井藤一(主) 沼尻善一郎(兼) 市村延好

(金) 増山政雄(金邑) 豊島正雄(吉) 五頭武雄(吉)  
報告員 沼尻淨

### 栄村自作農貯蓄組合

組合長 藤沢勤兵衛 副組合長 久松 茂

理事 酒井 卓夫、大津 忠雄、沼尻 勲、大

山重右衛門、沼尻高之助、岩瀬芳一郎、豊

島 勇、五頭 重儀

監事 酒井 守夫、酒井 宗一、久保田一郎

### 社会福祉協議会

会長 藤沢勤兵衛

副会長 久松 信一 同 猪俣三郎 同 根本養三

常務理事 横山 秀暢

理事 酒井嘉幸、岡田節二 沼尻敬一 酒井 隆

中村千枝 橋本義弘 市村芳男 五頭良雄

宮本左吉 久松 茂 岡田 久 塚本 清

酒井きよ 酒井ゆう 寺田庫之助 酒井浩

大久保四郎三郎 豊島 実 牛岡七く

監事 根本一之 鷹鷲 清

### 栄郵便局

特定郵便局長

郵政事務官 局長代理 井通主幸 久松 盛男

事務員 内務主任 倉田賢二 鈴木久良 宮本 昌

西之助 鈴木操 塚本浩

郵政事務官、塚本哲四郎(出勤)

事務員 外務主任、島崎茂 岩瀬清 飯島房雄

久松信夫 沼尻満、岡田守男

臨時雇員 沼尻順子(出勤)

### 株式会社 常陽銀行中根支店

支店長 小林 正雄

行員 貸付出納主任 宮崎 育三

預金庶務 酒井きく 預金計算 松山信夫

預金為替 酒井マツ

雇員 佐野 春一

### 栄俳句会

会長 水田 晋國

理事 柳井雪花 飯島峰雄  
沼尻亮風 岩瀬水哉

### 栄村短歌会

会長 大久保百夜

副会長 塚本 善清

幹事 酒井 茂

### 栄愛菊会

会長 根本 正明

副会長 永橋 清一

理事長 塚本哲四郎

理事 増山 重信 飯田芳一郎

監事 小島 満 飯島 清八

顧問 酒井治郎 小林實之助 沼尻隆

### 煙草耕作組合

組合長 酒井 茂一

副組合長 久保田一郎

会計部長 理事 小林 喜一

理事 久保田武夫 飯島長太郎  
酒井 一 大山 好農

畜産組合

組合長 酒井 作衛  
副組合長 藤幹幸 酒井 喜市  
幹事 酒井助十郎 酒井 正衛  
酒井 文夫 大塚 実

栄村受検組合

組合長 藤澤勘兵衛  
副組合長 久松 茂  
理事 各部衛生産組合受検部長に同じ

栄村中根土地改良区

理事長 大津 忠雄  
理事 本橋房之助、小越長一、本橋一男、平島啓一郎、飯島長太郎、飯島重夫、米栖要藏  
酒井正衛、沼尻茂  
監事 平島昭雄、飯島一男

同窓会 藤沢勘兵衛 久松 茂

栄村遺族会

会長 寺田康之助  
副会長 酒井 義久 久松 誠  
理事 酒井徳市、鈴木助次郎、米栖清一、根本保太郎、大塚本政男、酒井豊臣、沼尻軍一、佐藤賢、寺田光一、上方寅男

栄村児童委員会

委員 久松 信一 酒井 隆 中村 千枝  
橋本 義弘 市村 芳男 五頭 良雄

栄幼稚園

園長 橋本 義弘  
保母 渡辺三津江 大塚 訓子 寺島 昭子

公德保育園

運営委員長 小林 長一  
同副委員長 平島 昭雄

金計委員 本橋 光雄  
保 姆 中沢 徳子 岡田 信子

栄村佛教会

会長 横山 秀暢  
理事 橋本 義弘、菊地 精吾、小池 海賢  
加藤 周辰、木村 善藏、岡田 悠阿

土浦地区警察署栄村巡査駐在所

駐在巡査 照山 八郎

栄村担当穀物検査員

農林技官 曹崎 匡雄

公民館

館長 藤沢勘兵衛  
副館長 酒井 嘉幸 酒井 作衛  
主事 欠 員  
會計主任 沼尻昌雄 会計員 岩瀬 謙  
書記 鷹宮志子(兼) 市村芳男(兼) 鷹宮清兼

介助員 酒井正衛、高橋仁藏、飯島南雄、米栖要藏、沼尻要之助、大山好農、酒井健、沼尻正、片岡秀康、藤井徳一、柳沢春一

運営審議会委員

酒井正衛、塚田隆之助、酒井斐、小倉松三郎、久保田泰、沼尻正、飯島房之助、大久保四郎三郎、片岡秀康、豊島正雄、柳沢春一、酒井嘉幸、酒井きよ、中村千枝、根本一之、酒井ひで、豊島一之丞、酒井浩、沼尻久好、須藤茂雄、猪俣三郎、根本養三、菊池民雄、片岡三郎、酒井光男

總務部 部長 酒井嘉市、副部長 平島昭雄、米栖要藏、飯島憲、塚田隆之助、塚本橋一、酒井斐

沼尻正、沼尻繁、小島滋、五頭豊之、沼尻万年、市村徳夫、酒井伊右衛門、笠町正

酒井治郎、市村芳男、櫻井光、沼尻久好

酒井晋、宮本勝延、五頭良雄、豊島きよ

酒井寛

産業部 部長 久松茂、副部長 藤沢次達、大津忠雄

酒井重夫、酒井守夫、沼尻勘、大山重右門

### 農業共済だより

#### 一、共済金払出報告

1. 昭和廿七年水稲共済金一五五、〇四一円は、六月十日農業協同組合の各本入貯金口座へ振込んで払出を終りました。被災者は一五三人でした。
  2. 金、陸稲共済金三三、〇〇〇円は、六月二十日同様貯金口座へ振り込んで支払を終つて居ります。被災者は五八人でした。
  3. 家畜共済金は、土器屋飯島吉光氏役牛一万円、金田岩瀬仲氏役牛一万円、古来豊島勇氏綿羊三千円で何れも六月五日現金にて交付いたしました。
- 二、家畜事故報告について
1. 飼養家畜を譲渡又は交換した場合は、組合へすぐ連絡して下さい。
  2. 飼養家畜が疾病、傷害、若しくは老令等にて使用価値を失い売却する場合は、必ず事前に組合へ御連絡願います。
- 三、廿八年陸稲金面債保険加入のおすゝめ

本年は各方面の長期農業交渉を綜合いたしますと七、八、九月には降雨が非常に少いとのことでもし夫れが当れば自然夏作物に対して早害も予想されますから陸稲については全面積を申告して保険に加入されるようおすゝめいたします。

### トマト出荷要項

去る六月十五日、農協の恒例による「トマト」出荷連絡協議会が公民館に開催され、東京都内荷受機関の代表は勿論、官庁、系統団体の関係者並に生産者代表等多数出席のもとに、真剣なる協議が行われ、その結果として、販売、集荷、検査、荷造、輸送より精算に至るまでの一貫した、そして強力な共同出荷態勢を確立した。本年は非常に悪天候であり、中にはホルモン剤の使用を誤つたりで多少心配さるゝ実もなしとはいないが、大体出荷の態勢が確立した以上、格段の成果が期待される。こゝに要項の一部を抜萃して生産者の参考にあし、併て積極的協力を要望したいと思ふ。

#### 一、昨年の実績と今年の予想

作付反別	昨年実績	本年度予想
生育用	一〇五反	八五反
加工用	一一〇、二五五反	一〇七、〇〇〇反
合計	二二、五五五反	二〇、〇〇〇反
	一三、一七、七〇〇反	一二七、〇〇〇反

#### 二、本年度送別荷造規格

(備考、昨年度取扱数は農協決算書類による)

仕向要等級別	規格		送別標準	一箱個数	三箱個数
	規格	規格			
特松	形正の	八〇分以上	一ヶ以上	一箱	三箱
松	形正の	六〇、八〇反	一五、一八		
竹	形正の	四〇、六〇反	二、三四		
梅	傷損なき	三〇、四〇反	二八、三〇		
花	変形小粒				
青	形正の	三〇、四〇反	二五、二九		
赤	形正の	二五、三〇反	三〇、三五		
無	完全成熟せるもの				

#### 荷造方法

生食用一般向、一ヶ反詰、四箱重ネ棧木打ちつけ  
横二ヶ所二重掛 縦一ヶ所一重掛  
三ヶ反詰、蓋斐葉、横二ヶ所二重掛  
同北海道向 組合廿箱使用 縄掛一般同様  
加工用 三ヶ反用手箱使用 壊れ物を入れない  
二ヶ所二重掛とする

#### 三、検査に関する事項

1. 各集荷所に於ける検査は、大々園芸部長の責任に於て厳密に実施する
2. 各集荷所間の調整と指導のため検査委員が毎日巡回する (検査委員及委員長は別項記文の通り)
3. 検査委員の巡回には園芸部長一名宛同行する
4. 各生産組合集荷所毎に実施
5. 集荷時限を午後一時とする
6. 出荷予定貨数は前日個人別出荷予定を取り纏め